

No.	区分	氏名	学部・研究科	内容
1	個人	三上 洋平	基幹理工学部	校友会奨学生で2011年度総代・副総代となった。
2	個人	横田 祐起	創造理工学部	同上
3	個人	松永 有加	大学院 日本語教育研究科	同上
4	個人	山口 健一	大学院 ファイナンス研究科	同上
5	個人	朝井 リョウ	文化構想学部	第22回小説すばる新人賞受賞。小説すばる新人賞初となる平成生まれの受賞者となった。
6	個人	岩本 真実	スポーツ科学部	第59回全日本学生弓道選手権大会で弓道部創部以来初の女子個人戦優勝を果たした。
7	個人	中本 圭哉	スポーツ科学部	第14回世界ソフトテニス選手権大会で男子個人戦(ダブルス)優勝を果たした(ペアは川口市役所 菅野選手)。 日本のソフトテニス史上世界選手権で男子個人戦優勝は16年ぶり、学生では34年ぶり2回目で早稲田大学では初の快挙。
8	個人	晦日 尚子	教育学部	第87回および第89回全日本選手権大会 女子舵手付きクォドルブル優勝、第32回JAPAN CUP全日本軽量級選手権大会 女子舵手付きクォドルブル優勝、第14回アジアポーツ大会 女子舵手付きクォドルブル4位の快挙を成し遂げた。
9	個人	山田 恭平	教育学部	第49回「全日本学生選抜競技ダンス選手権大会」(主催:全日本学生競技ダンス連盟)モダンの部優勝、2011「ADSF Asian University Championships」準優勝、第56回「全日本学生競技ダンス選手権大会」クイックステップの部優勝の快挙を成し遂げた。
10	個人	秋山 彩織	先進理工学部	同上
11	団体	SIFE早稲田チーム	—	「SIFE(次世代のビジネスリーダー育成を目指す国際的NPO)JAPAN国内大会2011」(主催:SIFE JAPAN、後援:外務省、文部科学省他)で優勝を果たし、日本代表として世界大会へ出場した。
12	団体	東日本大震災復興支援ボランティアプロジェクト	—	2011年4月より地域のボランティアセンターや校友組織と連携を図り、4県20市町村をこえる地域で泥かき、がれき拾い等のボランティアを行った。また後期(2011年10月～)は、政策提言、仮設住宅支援等も行った。WAVOC(平山郁夫記念ボランティアセンター)と協働し約2,000名の学生ボランティアが被災地の復旧復興支援活動に貢献した。
13	団体	早稲田大学法学部 久保田 隆ゼミ 交渉チーム	—	第10回「大学対抗交渉コンペティション(仲裁・交渉のスキルを競い合う大会)」(後援:住友グループ広報委員会/外務省・他)で優勝を果たした。
14	団体	競走部	—	第80回日本学生陸上競技対校選手権大会で53年ぶりの男子総合優勝を果たした。
15	団体	スキー部	—	第85回全日本学生スキー選手権大会で創部以来初となる女子優勝を果たした。
16	団体	バスケットボール部 女子チーム	—	第63回全日本大学バスケットボール選手権大会で創部以来初となる女子優勝を果たした。
17	団体	日本拳法部	—	第56回全日本学生拳法選手権大会で創部以来初となる男子団体戦(7人制)優勝を果たした。

No.	区分	氏名	学部・研究科	内容
18	団体	学生環境NPO 環境ロドリゲス	—	校友による校友のための祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
19	団体	早稲田祭2011 運営スタッフ	—	校友による校友のための祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
20	特別賞 個人	やくみつる	商学部 1981年卒	漫画家・コメンテーターとして様々な分野において活動、活躍。出演するバラエティ番組等とその幅広い知識で校友を大いに沸かせるとともに、特に知的イメージを喚起する番組への出演の際には早稲田のシンボルである角帽を着用し母校のイメージアップに貢献した。
21	特別賞 個人	磯 繁雄	教育学部 1983年卒	早稲田大学競走部監督。第80回日本学生陸上競技対校選手権大会で53年ぶりの優勝に導いた。
22	特別賞 個人	萩原 美樹子	文学部 2005年卒	早稲田大学バスケットボール部女子チーム監督。第63回全日本大学バスケットボール選手権大会で創部以来初となる女子優勝に導いた。

(以上)